

人文社会学科グローバル・スタディーズ履修コース

コースのアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

<求める入学者像>

(知識・理解)

1. 外国語、国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

(思考・判断)

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

3. グローバルな諸課題につき、自らに関わりある問題という視点から積極的な関心をもっている。

(技能・表現)

4. 自分の考えを、日本語を用いて他者にわかりやすく、口頭や文章で表現できる。

コースのカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

・専門入門科目群、グローバル・コア科目群、専門基盤科目群、専門展開科目群、演習科目群、学際融合科目群を用意する。

・専門入門科目では、学生が人文社会科学諸分野に対する関心を持ち、学際的な視点の基本を身につけるため、グローバル・スタディーズ基礎等の科目を用意する。

・グローバル・コア科目では、学生が自分の進路を構想しつつ、交渉力・協働力などの汎用能力や外国語運用能力を強化するため、実践的諸科目を用意する。

・専門基盤科目では、学生が人文社会科学の諸分野を学ぶうえで基盤となる知識とスキルを身につけるため、基幹的な諸科目を用意する。

・専門展開科目では、学生が人文社会科学の各分野での学びをさらに進めるために必要な知識とスキルを身につけるため、応用的な諸科目を用意する。

・演習科目では、学生がこれまでに身につけた知識やスキルを深め統合し、新たな問題を発見しその解決に貢献する能力を身につけるため、少人数教育を徹底する。

・学際融合科目では、学生が自分の目的に応じて、人文社会科学諸分野にわたる学際的な視点を強化するため、幅広い諸科目を用意する。

・卒業までに原則としてすべての学生が海外体験できるカリキュラムを設定する。

コースのディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

＜学習の到達目標＞

(知識・理解)

1. 人文科学と社会科学両分野の基礎的知識を身につけている。
2. 人文科学・社会科学のある特定の専攻分野における専門知識及び活用技法を身につけている。

(思考・判断)

3. グローバリゼーションに伴う諸問題にグローバル・マインドをもって多元的・多面的に取り組むため、実体験に支えられた教養と知識(グローバルな実践知)に基づいて、自ら課題を設定し論理的に考察することができる。

(興味・関心・意欲、態度)

4. 国際社会・多文化社会の一員としての自覚を持ち、文化の違いや国境を越えて、協働的な人間関係を形成することができる。
5. 課題の設定や達成に必要な知識と実体験を、自ら積み重ねることができる。

(技能・表現)

6. 国際的・多文化的な活動に必要な語学力を有している。
7. 必要な情報を幅広く収集し、整理・分析することができる。
8. 自らの思考の過程と結果を、明確に説明することができる。